

1. 入山日時：2013年05月11日(土) 10:00~11:00
2. 入山者：真砂
3. 目的：水用ポリタンクの搬入 及び 5月25日(土) 活動内容検討の為の状況確認

**1) 刈払機での草刈対象となる箇所**

- ①記念樹ゾーン、記念樹ゾーンの向かいの林道沿い植栽ゾーン 及び 多目的広場。
- ②基地の倉庫及びシンボルのエノキ周辺、基地から植栽地に入る沢筋の作業道 及び 新しくネザサを刈った斜面。
- ③暗渠周りの斜面。
- ④林道沿いの路肩。
- ⑤竹林内の雑草 及び 竹林沿いのナルトサワギクの刈り込み。

**2) 手作業での整備対象となる箇所と活動**

- ①竹フェンスから上の林道沿いの急斜面の草刈り。
- ②尾根道沿いに架けた「フクロウの巣箱」の移設。
- ③植栽地の混み苗の除伐 及び 作業道の路肩の補修。
- ④竹林の過去に刈って竹林内に積み置いた枯れ竹の積み替え 及び 折れ竹の処理。

**1) 刈払機での草刈対象となる箇所**

- ①記念樹ゾーン、記念樹ゾーンの向かいの林道沿い植栽ゾーン 及び 多目的広場。25日は刈頃になっている。

記念樹ゾーン



林道沿い植栽ゾーン及び多目的広場



②シンボルのエノキ 及び 基地の倉庫の周辺、基地から植栽地に入る沢筋の作業道 及び 新しくネザサを刈った斜面。

シンボルのエノキの周辺



基地の倉庫周辺



基地から植栽地に入る沢筋の作業道



新しくネザサを刈った斜面 シダが繁茂した。した。



③暗渠周りの斜面。④林道沿いの路肩。⑤竹林内の雑草 及び 竹林沿いのナルトサワギクの刈り込み。

③暗渠回りの斜面



④林道沿いの路肩



⑤竹林内の雑草



竹林沿いのナルトサワギク



## 2) 手作業での整備対象となる箇所と活動

### ②尾根道沿いに架けた「フクロウの巣箱」の移設。



- 周りの木が予想以上に芽吹いて空が見えない＝巣がフクロウから見えない状態になっている。
- 架設する木を変更した方がよさそう。

### ③植栽地の混み苗の除伐 及び 作業道の路肩の補修。



植栽地の混み苗の除伐。

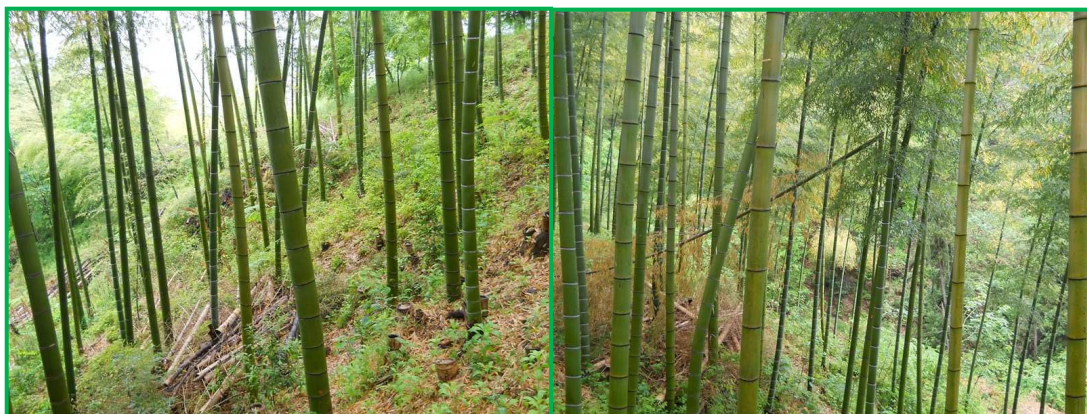
- 植栽地の中の下草はそれほど気にする状態ではない。
- 間伐の前に、幹径3cm未満の生育の悪い細い木の除伐を進める。



作業道の路肩の補修

- 上部植栽地の作業道の林道側の土砂が流れ、苗の根が露出している箇所が出てきている。
- 車が入れる幅の確保を前提に、必要な個所に土止め等の処置をする必要がある。

### ④過去の間伐で竹林内に積み置いた枯れ竹の積み替え 及び 折れ竹の処理。



- 今年は竹林全てのエリアで新竹がほとんど残っていないという異常事態になっている。
- これでは新陳代謝が回れず、竹林の力が弱くなる。
- 来年はタケノコ掘りの停止など、育林に真剣に取り組む必要がありそう。

## 危機的な竹林を守るために

- 今年、竹林のどの斜面にも新しい竹の萌芽がみられません。  
これは神於山で竹林保全に携わって以来初めての事で、新陳代謝が止まったことを意味しますから管理上危機的な事です。
- 主因は、土入れや肥料等を一切施していない為、土枯れがおきていることと、急斜面の為、土がかなり流れ落ちていることにありますが、今年タケノコが不作で、出たタケノコがイノシシだけではなく入山された方から掘り尽くされたことも原因であると思います。
- そこで今年の竹林対策は、
  1. 竹林内の雑草を刈って堆肥にする。
  2. 過去に刈り、竹林内に積んでいる竹を竹柵に添って積んでバリケードにすることによって、遊歩道から竹林に入れない様にする。以上2点を活動のメインにしたいと思います。

### ◆今年竹林内のどの斜面にも新しい竹がほとんど出ていない。



### ◆竹林内にはあちこちにタケノコの掘り跡が有る。 細いタケノコまで掘られ、皮が現場に散乱している。



### ◆遊歩道から入れるように竹柵に作った隙間がかえって仇になっている。看板は字の読めないイノシシ、意に介さない人間には残念ながら効き目が無い。

